

昭和 100 年

その残照、かしこに!

(前編)



ねんねこ半纏（てん）で



ローマの休日上映



懐かしい石臼



内郷ヘルスセンター



勿来市誕生



天狗おどり

「降る雪や明治は遠くなりにけり」は、俳人・中村草田男の句だが、日本の「元号」で最長の六十四年間にわたり続いた「昭和」からもすでに長い時間が経（た）ち、今年は「百年」。九、十月号では前後半に分け、五十年ごとの歴史を振り返りつつ、人々の生活のそこかしこにあつた「昭和の残照」を取り上げる。